CASBEE広島　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE 広島 2016年版　　使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要

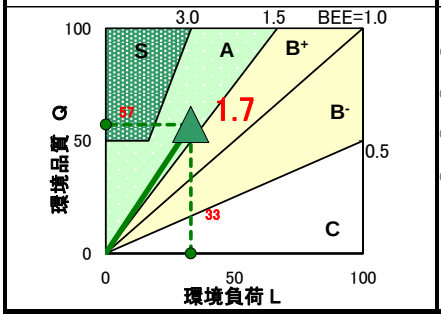
建物名称	パークホームズ段原	階数	地上14F
建設地	広島県広島市南区段原山崎二丁目	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域(市街化区域)、準防	平均居住人員	189 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2026年2月　予定	評価の実施日	2024年5月7日
敷地面積	1,227 ㎡	作成者	寺見　小織
建築面積	400 ㎡	確認日	2024年5月24日
延床面積	4,322 ㎡	確認者	服部　幸雄

1-2 外観

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

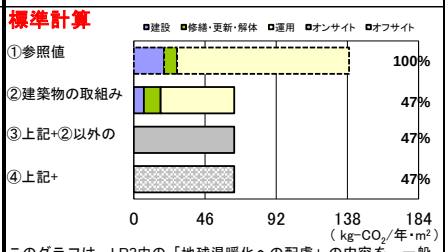
BEE =1.7

S: ★★★★★　A: ★★★★　B⁺: ★★★　B⁻: ★★　C: ★



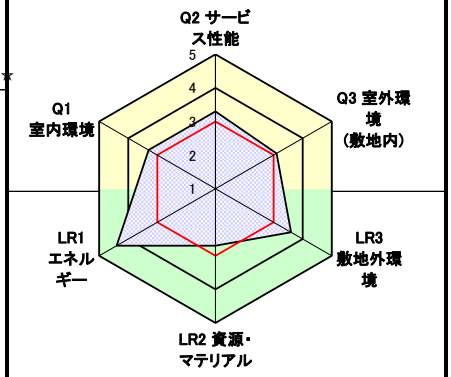
2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

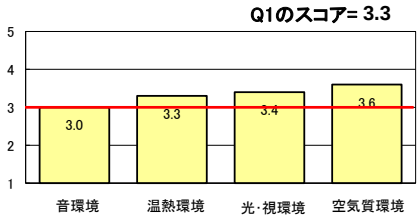
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



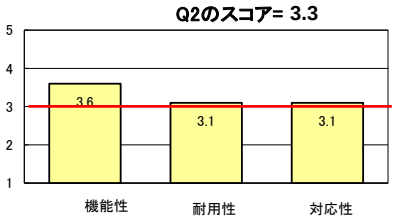
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア＝ 3.2

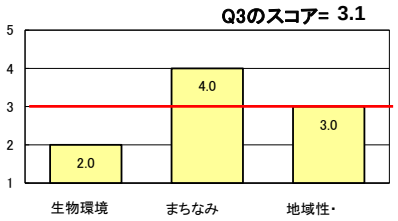
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.3



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.3

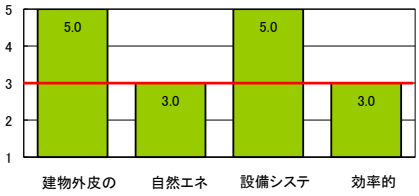


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 3.1

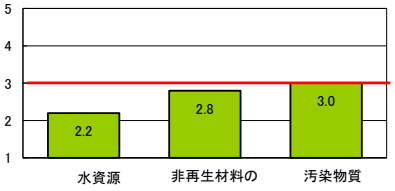


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア＝ 3.6

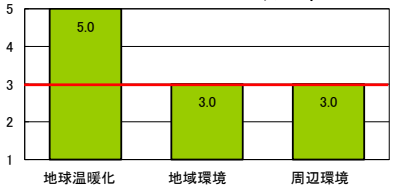
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 4.4



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 2.7



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=3.6



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア＝ 3.6

「地球温暖化対策」の推進　スコア＝ 3.9

設計の計画上特段に配慮した事項

ZEH（日本住宅性能表示基準における断熱性能等級５相当）を達成している / / BEI＝0.79 / / LGSを採用し、躯体と仕上げ材が容易に分別でき、かつ、設備と仕上材が錯綜しないよう配慮している / ライフサイクルCO2排出率＝47%

「ヒートアイランド対策」の推進　スコア＝ 2.5

設計の計画上特段に配慮した事項

/

「長寿命化対策」の推進　スコア＝ 3.2

設計の計画上特段に配慮した事項

日本住宅性能表示基準において劣化等級３を達成している
主要な内装材・配管に長寿命の製品を採用している / 自天井内配管、床コロガシ配管を採用し、構造体を傷めることなく給排水管を更新できるよう設計している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO_2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される